

1月18日（水）15:00～17:00 特別オンラインセミナー AI推進店舗向け「実地棚卸なるほどQ&A」

3つのステップを完全マスター！

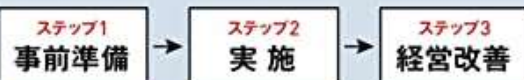
実地棚卸 なるほどQ&A

株式会社エイジス [監修]
近江 元 [著]



棚卸サービス会社のノウハウを
この1冊にギュッと凝縮！

新任担当者でも実践レベルに



中央経済社

～ 防犯民主主義実現に向けて ～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会
工業会 日本万引防止システム協会



正会員 (正会員数 37社)

アイアンドティテック(株)	(株)GeoVision
IDECファクトリーソリューションズ(株)	シグマ(株)
AWL(株)	セコム(株)
アクシスコミュニケーションズ(株)	セフトHD(株)
アースアイズ(株)	高千穂交易(株)
(株)アジラ	タカヤ(株)
アドセック(株)	チェックポイントジャパン(株)
(株)エイジス	(株)店舗プランニング
NECソリューションイノベータ(株)	日本NCR(株)
エム・ケー・パビック(株)	日本電気(株)
(株)オカムラ	ネクストウェア(株)
(株)キャトルプラン	パナソニック コネクト(株)
(株)杏林社	富士通フロンテック(株)
グローリー(株)	ビブリオテカ・ジャパン(株)
(株)ゴジョウ・ウェイズ	マイディキューブ(株)
(株)KSM	Matsuo Sangyo(株)
サクサ(株)	(株)三宅
(株)セキュリティデザイン	リアルネットワークス(株)
CIA(株)	

お蔭さまで全会員数が56組織になりました。

(2022年12月9日現在)

賛助会員

(株)アスラボ	三愛化成商事(株)
亜細亜印刷(株)	チェスコムアドバンス(株)
サニーヘルス(株)	(株)NICCOサポート
(株)JSS	(株)日本保安
(株)自己啓発協会	丸紅(株)
(株)セキュアリンク	(株)ロケット

特別会員

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人 リテールAI研究会
タグ&バック事務局

EAS & カメラの工業会及び認定個人情報保護団体としてのJEAS

名称：工業会 日本万引防止システム協会（JEAS）

The Japan Industrial Association of Electronic Article Surveillance Machines.

設立：2002年6月

会員数：正会員37社、賛助会員12社、特別会員7団体

認定個人情報保護団体 対象事業者数：13社

事業：万引防止システムの普及を通じた社会貢献（ロス削減、安全安心）

組織：経済産業省・中小企業庁より工業会認定

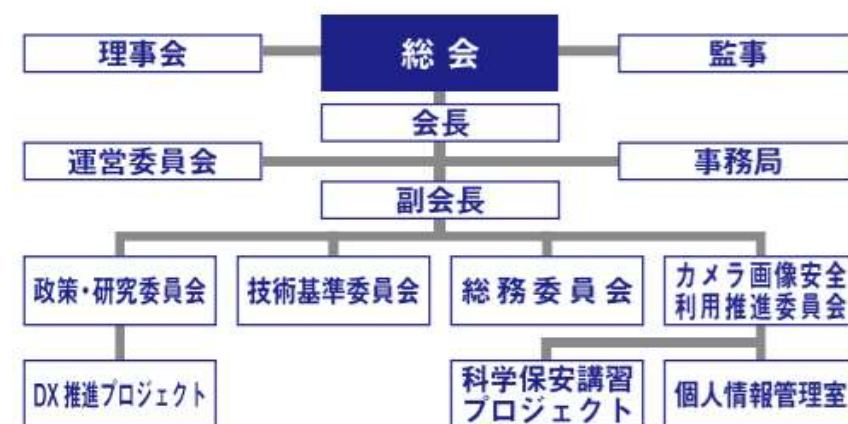
2018年2月1日より、中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明[分野:EAS〔電子商品監視機器〕、防犯カメラ〔赤外線サーモカメラ含む〕]を行う工業会業務開始。

個人情報保護委員会 認定個人情報保護団体 認定

2020年9月18日理事会において、EAS機器と防犯カメラ（赤外線サーモカメラ含む）の工業会として認定個人情報保護団体に申請することを決定し、同日個人情報保護委員会に申請し、2020年9月30日に認定団体となる。工業会としては初！



所在地：〒160-0004 東京都新宿区
四谷 1-6-1 YOTSUYA TOWER 7階



各プロジェクトチーム

JEAS 工業会
日本万引防止システム協会
認定個人情報保護団体

1月18日（水）15:00～ AI推進店舗向け「実地棚卸なるほどQ&A」オンラインセミナー

現在、さまざまな形で、売場でのAI実証実験が行われていますが、その成否を左右するのが、実在庫の把握です。Amazonの実験店舗においても正確な在庫カウントをするために、スタッフが手間をかけて在庫チェックしています。それは何故でしょうか？今回のセミナーでは近江副会長が執筆された「実地棚卸なるほどQ&A」を使いその謎を紐解きます。真の経営改革に向けて、基礎中の基礎をじっくり再確認したいと思います。

タイトル：1月18日AI推進店舗向け「実地棚卸なるほどQ&A」セミナー

講師：近江 元氏 実地棚卸なるほどQ&A（中央経済社）著者 役職 工業会 日本万引防止システム協会 副会長など

日時：1月18日（水）15:00～17:00

申込：Teamsウェビナー画面より

※YOTSUYA TOWER 7階 高千穂交易(株)セミナールームでの参加を希望される皆様は事務局に別途ご連絡ください。

対象：小売業様や売場のAI開発されているメーカー様など

内容：①実地棚卸 近江 元氏氏 約20分
②チェーンストア勢力の在庫管理の実態 近江 元氏 約15分
③DX(AI)を生かしたチェーンストア経営 近江 元氏 約40分
④RFID活用の目的と課題 近江 元氏 約15分
⑤中小企業診断士より （一社）ロスプリベンション協会 代表理事 秋元初心氏より 約15分
⑥質疑応答 司会（JEAS会長）約15分

主催：工業会 日本万引防止システム協会（JEAS） 政策・研究委員会 DX推進プロジェクト

書籍：事前に「実地棚卸なるほどQ&A」購入されご参加ください。

<https://www.biz-book.jp/isbn/978-4-502-44311-4>

申込サイト：

https://teams.microsoft.com/registration/lcUBFRFrCEyJDVvapdoeSA,3Y_5W_bXlEaZtB2jHyDXBw,NTTNPBg4qEC6lgEc1hHfVw,Oy_hk82jtDEGxQaoA_3dECQ,nGWAsNOr6k6kXfNOvteVwA,5tP3vOVrtkWslZyDIwh_zw?mode=preview

質疑応答

5. ペガサスクラブ加盟企業の店段階の在庫管理実態調査

A. 集計企業 98社

数字は企業数 構成比

年商規模	%	店数規模	%	主力業種・フォーマット	%
～50億円未満	9 9.2	～30店未満	26 26.5	日本型スーパーストア	3 3.1
～100億円	12 12.2	～50店	14 14.3	スーパーマーケット	24 24.5
～500億円	33 33.7	～100店	22 22.4	生協	5 5.1
～1,000億円	16 16.3	～200店	20 20.4	ホームグッズ総合 (HC、HFuS)	18 18.4
～3,000億円	24 24.5	～500店	7 7.1	ドラッグストア	18 18.4
～5,000億円	3 3.1	～1,000店	5 5.1	衣料・服飾品 専門店	7 7.1
5,000億円以上	1 1.0	1,000店以上	4 4.1	その他専門店	17 17.3
				それ以外	6 6.1

B. 棚卸し実施頻度 (%) ※記録をしない場合は除く。食品は生鮮をのぞく一般的な部門のみ

週1回以上	月1～3回	2～3か月に1回	それ以外 または決算時のみ
5.1	15.3	18.4	61.2

C. 企業全体の年間不明ロス金額

	SM	生協	ホーム グッズ 総合	DgS	衣料・ 服飾品 専門店
売上高対比%	平均 0.57%				
	平均 0.51	2.18	0.79	0.43	0.30
	最大 2.27	4.89	5.08	1.00	0.86

D. 不明ロス原因推定実施状況 (%) E. 原因

	実施	無し
日本型スーパーストア	33.3	66.7
スーパーマーケット	20.8	79.2
生協	25.0	75.0
ホームグッズ総合	26.9	73.1
ドラッグストア	43.8	66.7
衣料・服飾品 専門店	28.6	71.4
その他専門店	23.5	76.5
計	26.9	73.1

万引き・部外者窃盗	16社	12,383件の総額 1億5,115万円
社内従業員の窃盗	5	最大1千万円
取引先・関係者の窃盗	1	金額200万円
帳票記録ミス	10	50,801件の総額5,278万円

註. いずれも業界実態は、これ以上あるはずだが、原因追究が行われていないため不明

F. 原因追及を行う責任者の職位名

店長	21社	21.4%
部長級	20社	20.4%
その他	13社	13.3%
不明・なし	44社	44.9%

G. 防犯対策責任者

店長	69社、72.6%
エリアマネジャー・ゾーンマネジャー	13社、13.7%
店舗運営部トップ	5社、5.2%

H. 制度上、実行している万引き・窃盗対策 (%)

	実施済み	一部・実験	検討中	検討なし
a 従業員による声掛け	79.1	8.8	4.4	7.7
b 壁面・天井に鏡面設置	21.3	36.0	3.4	39.3
c 防犯カメラによる店内映像記録	83.0	9.6	1.1	6.4
d 防犯カメラによる不審者・動作の自動認識	11.5	5.7	12.6	70.1
e 定期的な万引きGメン・警備員巡回	41.8	15.4	5.5	37.4
f 店舗で商品へ防犯タグ取付	40.4	14.6	1.1	43.8
g センター・産地での防犯タグ取付	2.4	1.2	9.4	87.1
h 地域警察・商店などの事件発生・容疑者情報交換	31.0	24.1	3.4	41.4
i 同業他社との事件発生・容疑者情報交換	14.1	11.8	3.5	70.6
j 従業員への定期アンケート	0.0	4.7	5.9	89.4
k 店内ポスター・POPによる警告	51.1	18.9	3.3	26.7
l ロス率店間格差の観察・分析	58.2	14.3	12.1	15.4

I. 制度上の欠品調査 実施状況

	社数	%
毎日	15	15.6
週数回	6	6.3
週1回	33	34.4
月1～3回	8	8.3
制度なし・決まってない	34	35.4
	96	

J. 欠品発見時の対応

	社数	%
単品・品目を担当セクションに報告	37	42.0
部門ごとの欠品数・率を報告	11	12.5
調査範囲全体の欠品数・率を報告	9	10.2
記録のみ (報告先未決定)	4	4.5
決まった記録方法なし	12	13.6
欠品調査制度がない	15	17.0
	88	

K. 自社における欠品

	社数	%		社数	%
売場に陳列されている実在庫ゼロ	39	40.2	店舗理論在庫が最低量以下	3	3.1
店舗実在庫ゼロ (未陳列分含む)	16	16.5	その他	5	5.2
店舗理論在庫 (帳簿上在庫) ゼロ	6	6.2	決まっていない	13	13.4
店舗または売場実在庫が最低量以下	15	15.5			

L. 主要部門の平均欠品率 (摘発した単品数÷扱い単品数)

	社数	%	SM	ホーム グッズ 総合	DgS	衣料・ 服飾品 専門店	その他 専門店
0.1%未満	5	5.3	4.3		5.6	14.3	7.1
0.1～0.5%未満	15	15.8	26.1	35.3	11.1		7.1
0.5～1%未満	12	12.6	8.7	23.5	22.2		
1～3%未満	7	7.4	4.3	17.6	11.1		
3～5%未満	5	5.3		5.9	11.1		7.1
5%以上	3	3.2				14.3	14.2
数値不明・推計不可	14	14.7	17.4	5.9	16.7	14.3	14.3
欠品調査制度がない	34	35.8	39.1	11.8	22.2	57.1	64.3
	95社		23社	17社	18社	7社	14社

参考資料

出典 JEAS会報27号抜粋
<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20170816-3.pdf>

ロス対策士検定試験制度について

「ロス対策テキスト（ロス対策士検定試験公式テキスト）」での学びを実際の現場で活用していただけるように、知識の共有と、さらなる知識技術を向上させるために「ロス対策士検定試験制度」を設立いたしました。

「ロス対策」は、欧米では「ロス・プリベンション」という言葉が幅広く認知されており、研究もされています。特にフロリダ大学のリード・ヘイズ博士らが研究調査活動を行っている「Loss Prevention Research Council」LPRCや2006年に設立されたNPO法人「Loss Prevention Foundation」LPFは、その中心的な役割を担っています。

既にアメリカでは、LPFが主体となってLPQ、LPCといったロス対策専門資格試験制度が設けられており、知識の共有化や具体的で効果的な対策の実行も進んでいます。またヨーロッパでもECRヨーロッパを中心に研究や実務対策が進んでおり、イギリスのレスター大学の名誉教授でもあるエイドリアン・ベック氏を中心に活発な研究活動が行われています。

この「ロス対策テキスト」と「ロス対策士検定試験制度」が、日本の小売業にとどまらず、国民の安全と安心、そして豊かな生活に貢献できることを確信しております。

なお、このテキストおよび試験制度を作成し具体化を進める上で、小売業に関連する職務に携わる多くの方々のお力添えをいただいています。紙面の都合で、お名前をご紹介しますことはできませんが、ここで心より感謝申し上げます。



特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構

<https://www.manboukikou.jp/exam-about/>

JEAS 工業会
日本万引防止システム協会
認定個人情報保護団体

日経メッセSECURITY SHOW2023 セミナー

2月28日（火） 13:30～14:30

申込番号：SS-12

緊急指令！セルフレジ不正防止・レジ前万引を阻止せよ！

会場	東3ホール内 SECURITY SHOWステージ【会場（リアル）定員100名】 Online配信あり
受講料	無料
主催など	工業会 日本万引防止システム協会

セルフレジの普及が進んでいます。それに伴い処理ミス、さらには不正処理や万引を招くようになっていきます。ロス対策教育の第一者である当工業会の近江副会長が司会を担当し、会員がハード面とソフト面の対策事例を紹介します。

https://messe.nikkei.co.jp/ss/seminar/#seminar_142840

本日は視聴いただき有難うございました アンケートのご協力をお願いします。

JEAS セミナーアンケートのご協力

本日の JALIS セミナーにご参加いただきありがとうございます。今後の野上工業会のマーケティング活動のため、質問にお答えいただければ幸いです。

1. どちらの業界・産業からご参加ですか。選択いただき、空欄を埋めてください。

- ・小売業 空欄には「」
- ・サイバー・パンター 業種は「」
- ・電子関係 具体的に「」
- ・その他 具体的に「」

2. 本日のご感想いかがでしたか。該当の空欄に○をお願いします。

①かなり良かった。 ②良かった。 ③ふつう ④期待はずれ
コメント

3. コロナ対策で貴社が取り入れた対策は

①サーモカメラ導入 具体的に「」

②検知装置 具体的に「」

③検知装置 具体的に「」

④その他 具体的に「」

さらに今後、貴社が検討するお考えですか。

4. 小売業のお客層への質問です。該当の空欄に○をお願いします。

(1) 顔認識システムの導入は

①すでに導入している ②検討中 ③導入の足踏みが多い
その理由

(2) 貴社の DX は、主ビジネス分野で、どのように進めようとしています。

5. 当工業会へのご要望/ご質問をお聞かせください。

ご協力ありがとうございます。アンケート集計とご質問のご回答は、後日、弊工業会のホームページにて発表する所存です。

工業会 日本万引防止システム協会

アンケート

<https://www.jeas.gr.jp/seminar/questionnaire/>



本日資料はJEAS・HPのNEWSページ2023年1月18日にあります。

<https://www.jeas.gr.jp/20230118.zip>